

# やまとの環境

## 概要版

— 環境基本計画年次報告書 —  
平成25年度版（平成24年度実績報告）



大 和 市

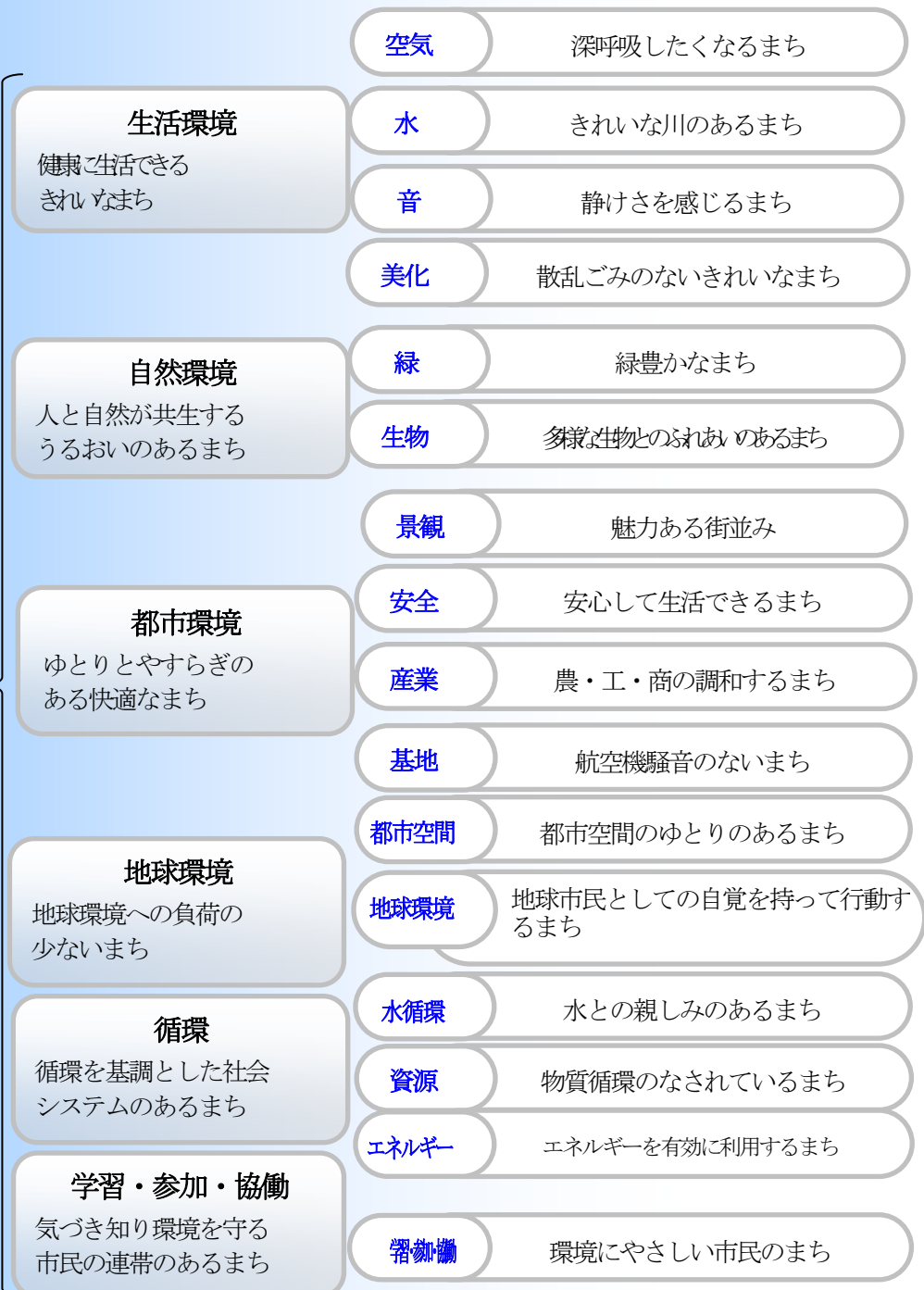
## やまとの環境（大和市環境基本計画年次報告書）について

やまとの望ましい環境像、「自然の恵みを取り入れた、健康に生活できる、一生を安心して暮らせるふるさと」の実現のために、大和市では平成11年度に環境基本計画を策定しました。平成19年度には、目標設定水準や施策の見直し、とりわけ地球温暖化対策の推進などを踏まえ、改定しました。

本計画では、目標の達成度や、施策の進行状況を定期的に把握・評価し、必要に応じて見直しや修正を行っていきます。このことから、やまとの環境の現況と、環境基本計画に基づく施策の進行状況等を明らかにするため、ここに年次報告書として取りまとめ、公表することにより、情報の公開と共有を図るものです。

自然の恵みを取り入れた、健康に生活できる、一生を安心して暮らせるふるさと

望ましい環境像の実現



《指標項目についての進捗状況の一覧》

- 目標値は概ね平成29年度のものです。
- 達成度
  - ：目標を達成している
  - △：目標は達成していないが、前年度と同水準又は目標に近づいている
  - ×：目標から遠ざかっている

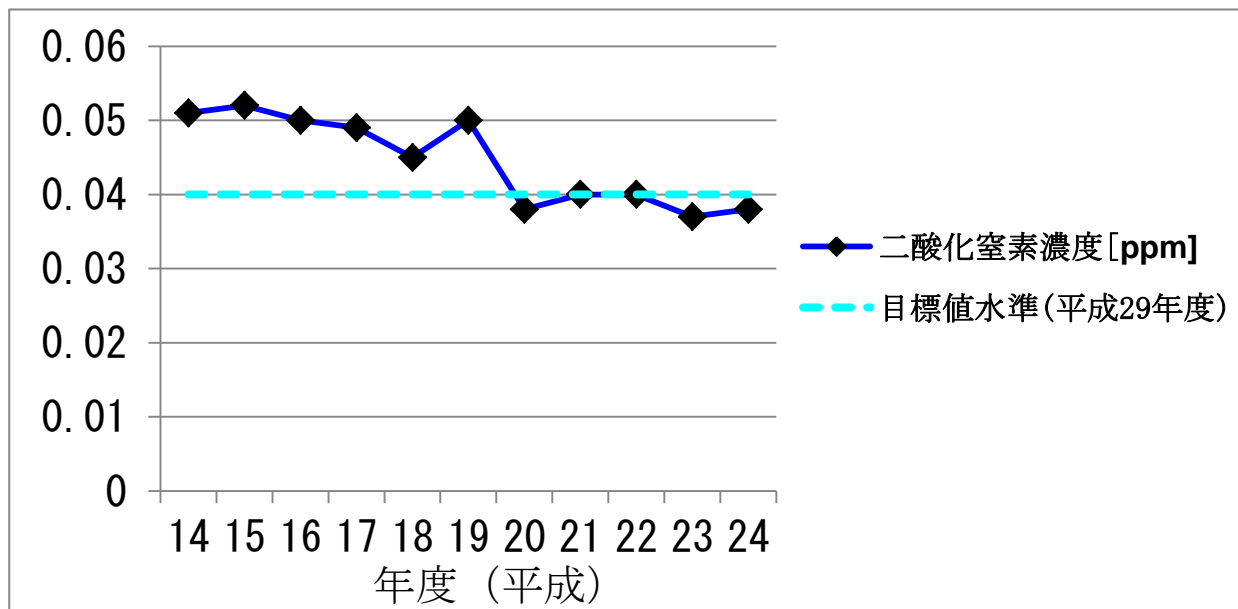
各環境要素の評価一覧

環境要素	指標項目	現況値及び目標値	H23 年度数値	H24 年度数値	達成度
①空気	二酸化窒素濃度	18年値 0.045ppm	0.037ppm	0.038ppm	○
		目標値 0.04ppm 以下			
②水	BOD (生物化学的酸素要求量)	18年値 境川 2.5mg/1 引地川 1.5mg/1	境川 2.0mg/1 引地川 1.2mg/1	境川 1.4mg/1 引地川 0.8mg/1	○
		目標値境川 3.0mg/1 以下 引地川 2.0mg/1 以下			
③音	騒音に係る環境基準の達成率	18年値 17%	67%	33%	×
		目標値 100%			
④美化	「美化」に関する環境が良いと思う市民の割合	19年値 10%	16%	21%	△
		目標値 25%			
⑤緑	緑地率	18年値 18.0%	17.0%	16.7%	×
		目標値 20.4%			
⑥生物	「生物」に関する環境が良いと思う市民の割合	19年値 21%	20%	30%	△
		目標値 45%			
⑦景観	市内でミンミンゼミの生息が確認されていること	18年値 生息を確認	1=生息を確認	1=生息を確認	○
		目標値 生息を確認			
⑧安全	「景観」に関する環境が良いと思う市民の割合	19年値 9%	14%	11%	×
		目標値 25%			
⑨産業	各環境中の基準濃度を超過した有害化学物質数	18年値 4種類	5種	3種	△
		目標値 0種類			
⑩基地	環境マネジメントシステム導入事業所数	18年値 55事業所	55事業所	36事業所	×
		目標値 300事業所			
⑪ 都市空間	航空機騒音に係る環境基準の達成率	18年値 0%	0%	0%	×
		目標値 100%			
⑫ 地球環境	一人当たりの都市公園等面積	18年値 5.89m <sup>2</sup>	6.25 m <sup>2</sup>	6.39 m <sup>2</sup>	△
		目標値 6.7m <sup>2</sup>			
⑬ 水循環	二酸化炭素の排出量	18年値 23.6万 t-C	22.5万 t-C	22.2万 t-C	△
		目標値 17.3万 t-C			
⑭ 資源	河川流量	18年値境川 2.45 m <sup>3</sup> /秒 引地川 0.78 m <sup>3</sup> /秒	境川 2.21 m <sup>3</sup> /秒 引地川 0.58 m <sup>3</sup> /秒	境川 2.65 m <sup>3</sup> /秒 引地川 0.49 m <sup>3</sup> /秒	△
		目標値 境川 3.5 m <sup>3</sup> /秒 引地川 1.0 m <sup>3</sup> /秒			
⑮ エネルギー	雨水貯留槽購入費補助申請件数	18年値 159件 (基)	276件 (基)	327件 (基)	△
		目標値 500件 (基)			
⑯ 学習・参加・協働	資源化率	18年値 22.9%	21.9%	21.9%	△
		目標値 32.1%			
⑰ エネルギー	市民一人一日当たりごみ排出量	18年値 529g	456g	459g	×
		目標値 412g			
⑱ エネルギー	公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入	19年値 1施設	2	0	×
		目標値 全施設			
⑳ 学習・参加・協働	やまとみどりの学校プログラムへの参加校	18年値 23校	28校	28校	○
		目標値 市内全校			
㉑ 学習・参加・協働	環境保全に取り組む人達が多いと感じる市民の割合	19年値 19%	14%	19%	○
		目標値 19%			

環境要素 1：空気

目標：深呼吸したくなるまち

全体の数値目標：二酸化窒素濃度 0.04ppm



【本年度の評価】 昨年度と変わらない

【評価の理由】 昨年度と同水準で目標を達成している。

【目標の確認のための取組】 常時監視測定局の大和市役所における、二酸化窒素濃度年間98%値(環境基準)の経年変化

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
二酸化窒素濃度[ppm] →評価：予定通りに進んでいる	0.038	0.040	0.040	0.037	0.038	0.04

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 1

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 21

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

《平成24年度の取組事例》

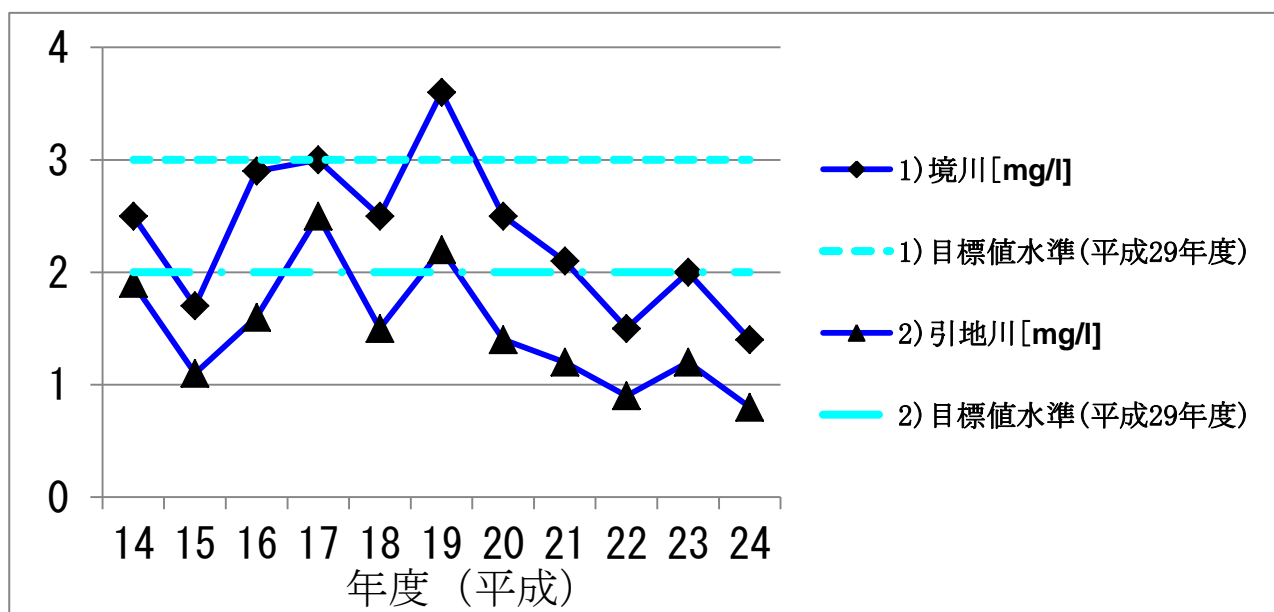
- ・ 上草柳トラックステーションにて、アイドリングストップの調査及び啓発を実施した。(○)
- ・ 環境意識研修等により公用車の効率的な運用について意識啓発を進めた。(○)
- ・ 神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく許可申請時や、解体工事に伴う特定建設作業の届出時において、悪臭、粉じん防止対策等について指導した。また、悪臭、粉じん苦情に対し、事業者を指導した。(○)

## 環境要素 2：水

目標：きれいな川のあるまち

全体の数値目標：BOD(生物化学的酸素要求量)

境川 3.0mg/l ・ 引地川 2.0mg/l



【本年度の評価】 昨年度と変わらない

【評価の理由】 目標を達成した。

【目標の確認のための取組】 河川の水質測定

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
境川[mg/l] →評価：予定通りに進んでいる	2.5	2.1	1.5	2.0	1.4	3.0
引地川[mg/l] →評価：予定通りに進んでいる	1.4	1.2	0.9	1.2	0.8	2.0

◎到達目標以上に進んだ取組の数：1

○到達目標どおりに進んだ取組の数：12

△到達目標に届かなかった取組の数：1

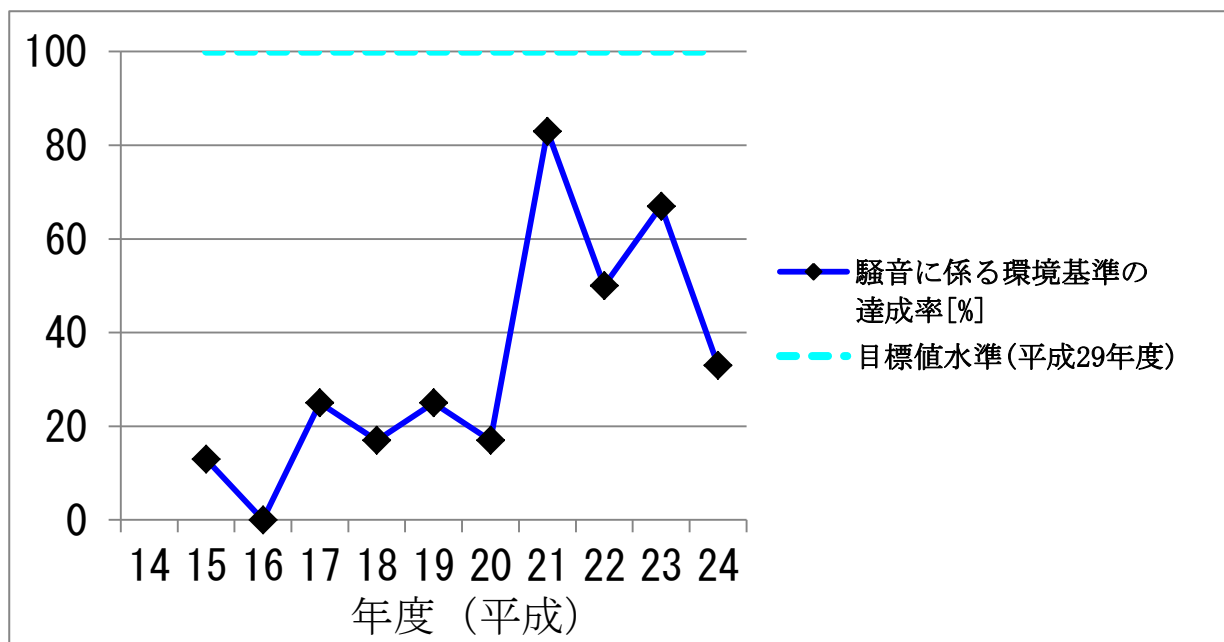
《平成24年度の取組事例》

- ・水質汚濁防止法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき、のべ77事業所について立入調査を行い、34件について水質検査を実施した。そのうち2事業所で水質基準違反があった。(△)
- ・生活排水と下水道の役割についての意識啓発のため、下水道出前授業(19校)、下水道ポスター展(応募数1,683点)を実施した。(○)

### 環境要素 3：音

目標：静けさを感じるまち

全体の数値目標：騒音に係る環境基準の達成率 100%



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標から遠ざかった。

【評価の理由】 環境基準を満足している地点数が減少したため。

【目標の確認のための取組】 幹線交通を担う道路における騒音測定

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
騒音に係る環境基準の達成率[%] →評価：予定よりやや遅れている	17	83	50	67	33	100

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 11

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

—その他の状況の取組の数 : 2

《平成 24 年度の取組事例》

- ・事業活動に伴う騒音防止対策のため、事業者に対し、神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく許可申請時等に指導を行った。また、工場・事業場から発生した騒音・振動苦情 25 件について事業者に指導を行った。

(○)

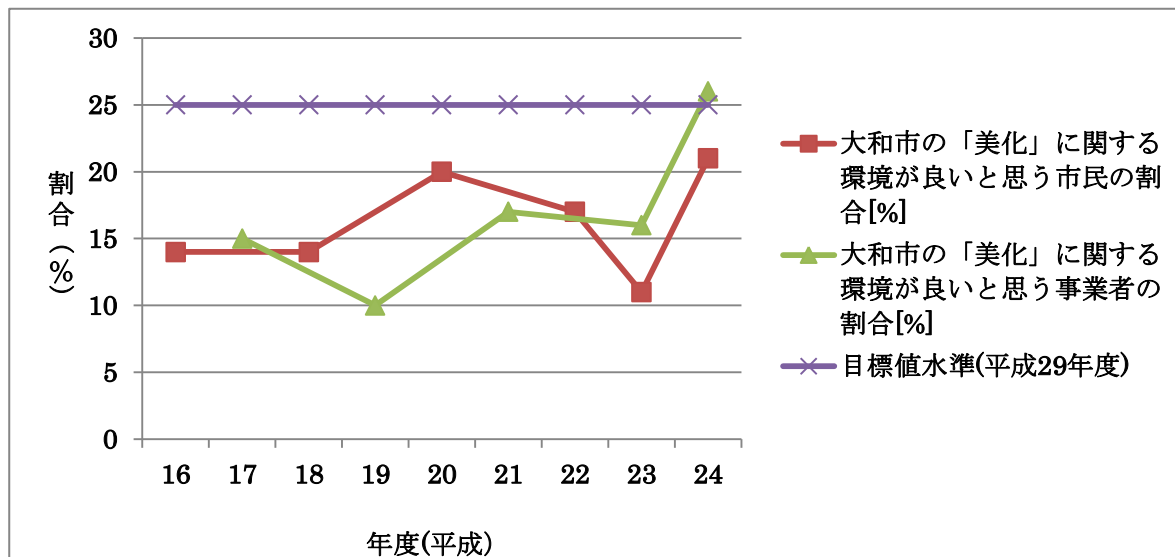
- ・屋外作業に伴う騒音、振動苦情 13 件に対して事業者に指導を行った。(○)

- ・近隣の騒音防止対策として、神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき、飲食店等への騒音苦情 6 件について実態調査を行い、事業者に指導を行った。(○)

## 環境要素 4：美化

目標：散乱ごみのないきれいなまち

全体の数値目標：大和市の「美化」に関する環境が良いと思う市民の割合 25%



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標に近づいた。

【評価の理由】 大和市の「美化」に関して環境が良いと思う市民の割合が増加したため。

【目標の確認のための取組】 市民・事業者アンケート

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
大和市の「美化」に関する環境が良いと思う市民の割合 [%] →評価：予定よりやや遅れている	20	-	17	11	21	25
大和市の「美化」に関する環境が良いと思う事業者の割合 [%] →評価：予定よりやや遅れている	-	17	-	16	26	25

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 1

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 13

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

《平成 24 年度の取組事例》

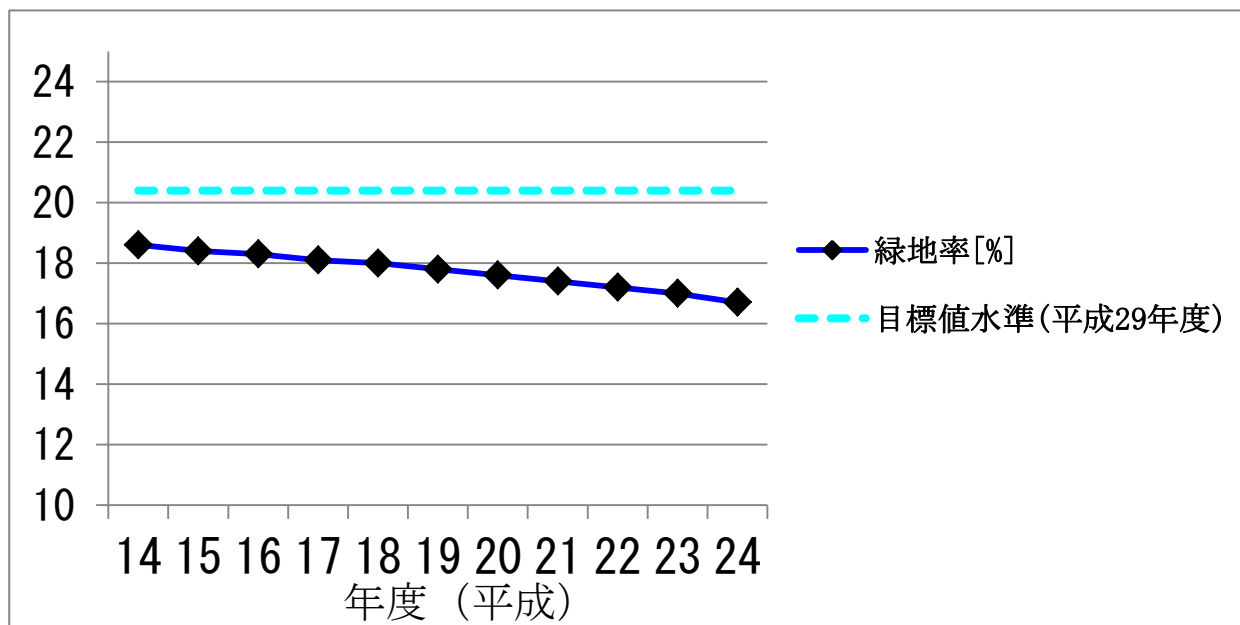
- ・不法投棄防止の啓発看板等の作成やパトロールを行うとともに、ボランティア袋を市民に配布し散乱ごみや不法投棄防止のための意識啓発を行った。(○)
- ・環境ポスターを募集することで、子供たちの美化への関心を高めた。また、優秀作品を市内公共機関や金融機関等に提示することで、市民等への意識啓発を行った。(○)
- ・年間クリーンキャンペーンとして、清掃の日、例月まち並み清掃、美化推進月間クリーンキャンペーンを実施した。(○)



環境要素 5：緑

目標：緑豊かなまち

全体の数値目標：緑地率 20.4%



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標から遠ざかった

【評価の理由】 宅地化の進展により、僅かずつ緑地の減少が続いている。

【目標の確認のための取組】 固定資産税統計表により緑の割合を把握

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
緑地率[%]	17.6	17.4	17.2	17.0	16.7	20.4
→評価：予定よりやや遅れている(目標値から遠ざかっている。)						

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 3

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 14

△到達目標に届かなかった取組の数 : 1

—その他の状況の取組の数 : 1

《平成 24 年度の取組事例》

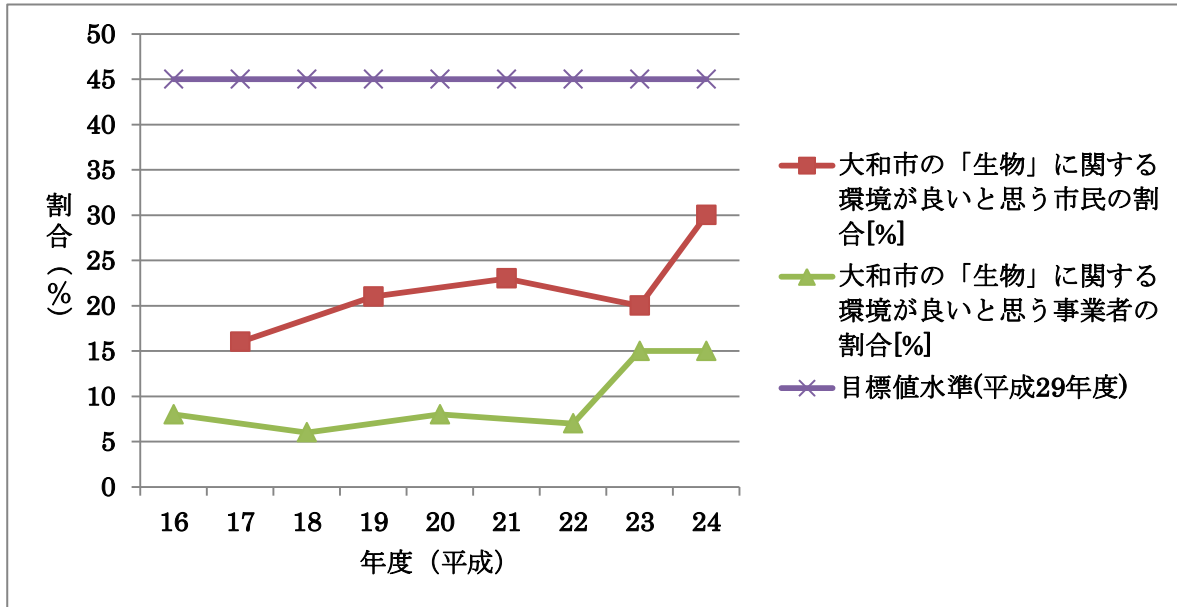
- ・緑のカーテン作り方教室を開催し、参加者（35人）へ緑化資源を配布し、積極的な緑化を進めた。（○）
- ・住宅地の緑化を進めるため、住宅地における接道部緑化（生垣等設置）に対して助成を行った。（○）
- ・緑化ボランティアを育成するため、しらかしのいえボランティア協議会と連携し、ボランティアリーダー育成に向けた講座等を開催した。（○）



## 環境要素 6：生物

目標：多様な生物とのふれあいのあるまち

全体の数値目標：大和市の「生物」に関する環境が良いと思う市民の割合 45%



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標に近づいた

【評価の理由】 大和市の「生物」に関して環境が良いと思う市民の割合が増加したため。

【目標の確認のための取組】 市民・事業者アンケート

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
大和市の「生物」に関する環境が良いと思う市民の割合[%] →評価：予定よりかなり遅れている	-	23	-	20	30	45
大和市の「生物」に関する環境が良いと思う事業者の割合[%] →評価：予定よりかなり遅れている	8	-	7	15	15	45

◎到達目標以上に進んだ取組の数：0

○到達目標どおりに進んだ取組の数：9

△到達目標に届かなかった取組の数：0

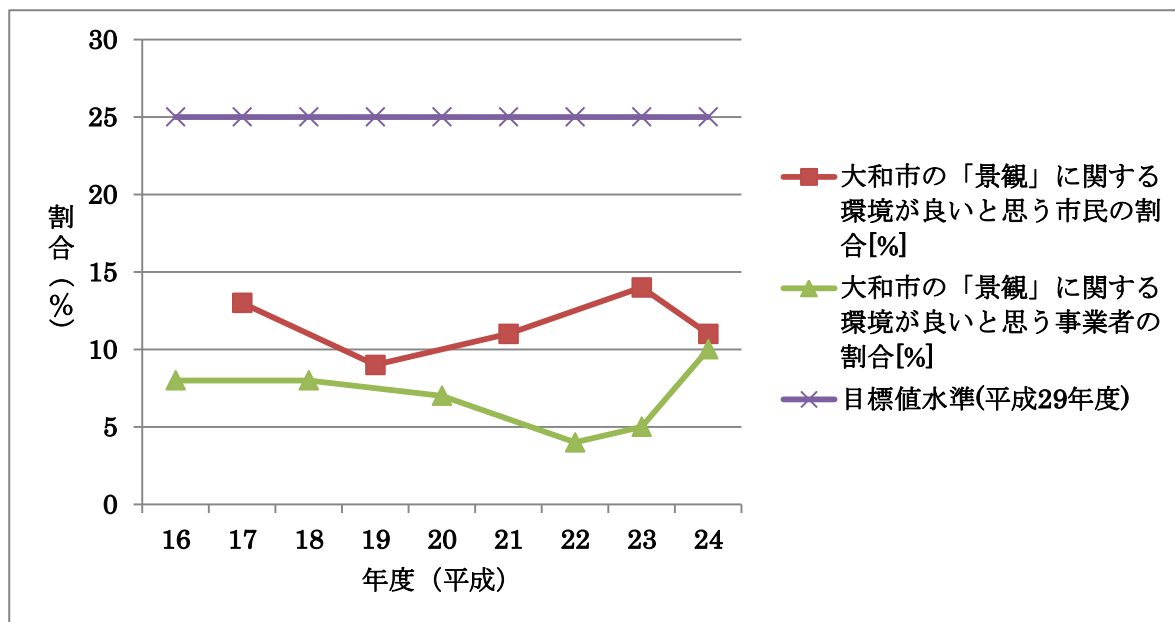
《平成24年度の取組事例》

- ・市内に生息する野生動植物を調査する市民環境調査として、7月～9月にセミのぬけがら調査を実施し、ミンゼミ等の生息状況を把握した。(○)
- ・ホームページやリーフレット等を利用し、継続的に野生生物保護に関する普及啓発を行った。(○)

## 環境要素 7：景観

目標：魅力ある街並み

全体の数値目標：大和市の「景観」に関する環境が良いと思う市民の割合 25%



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標から遠ざかった。

【評価の理由】 大和市の「景観」に関する環境が良いと思う市民の割合が低下したため。

【目標の確認のための取組】 市民・事業者アンケート

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
大和市の「景観」に関する環境が良いと思う市民の割合[%] →評価：予定より大きく遅れている	-	11	-	14	11	25
大和市の「景観」に関する環境が良いと思う事業者の割合[%] →評価：予定より大きく遅れている	7	-	4	5	10	25

◎到達目標以上に進んだ取組の数：0

○到達目標どおりに進んだ取組の数：8

△到達目標に届かなかった取組の数：0

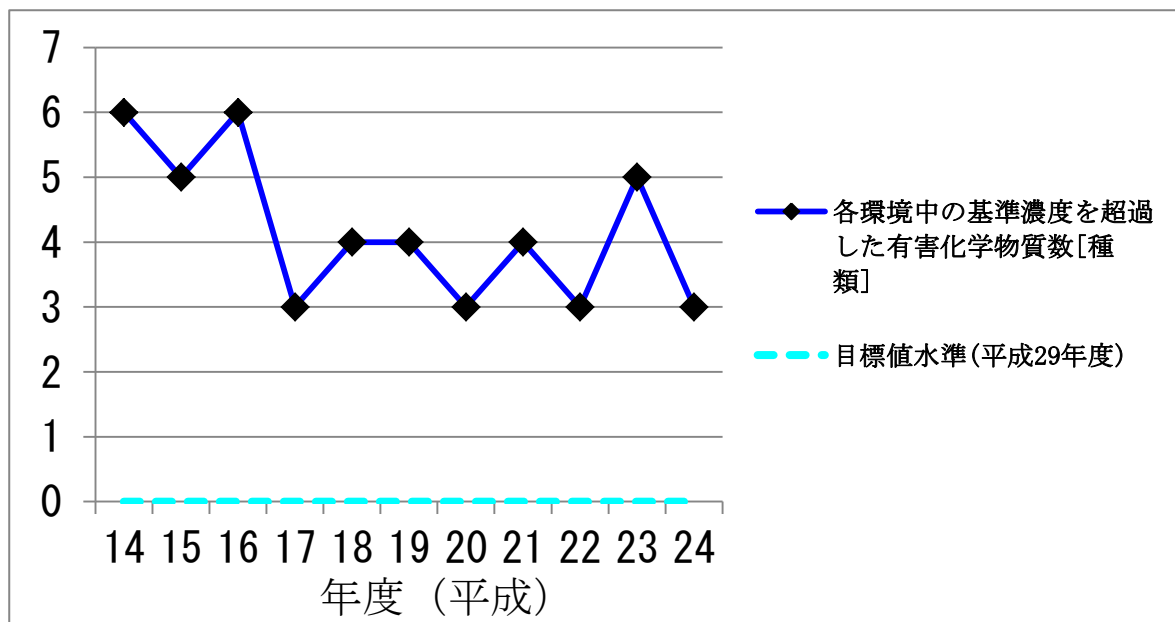
《平成 24 年度の取組事例》

- ・地区ごとの景観づくりやルール(地区計画、建築協定、街づくり協定等)締結に向けて専門家の派遣等を支援した。(○)
- ・ゆとりある歩道の確保や、歩道と車道の区画部の改善のため、327 m<sup>2</sup>の用地を買収し、高齢者や障がい者や子供など誰もが安心して歩ける道づくりを進めた。(○)

## 環境要素 8：安全

目標：安心して生活できるまち

全体の数値目標：各環境中の基準濃度を超過した有害化学物質数 0 種類



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標に近づいた。

【評価の理由】 超過した有害物質が減少したため。

【目標の確認のための取組】 各環境中の基準濃度と超過した有害物質数の測定

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
各環境中の基準濃度を超過した有害化学物質数 [種類]	3	4	3	5	3	0
→評価：予定通りに進んでいる						

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 20

△到達目標に届かなかった取組の数 : 4

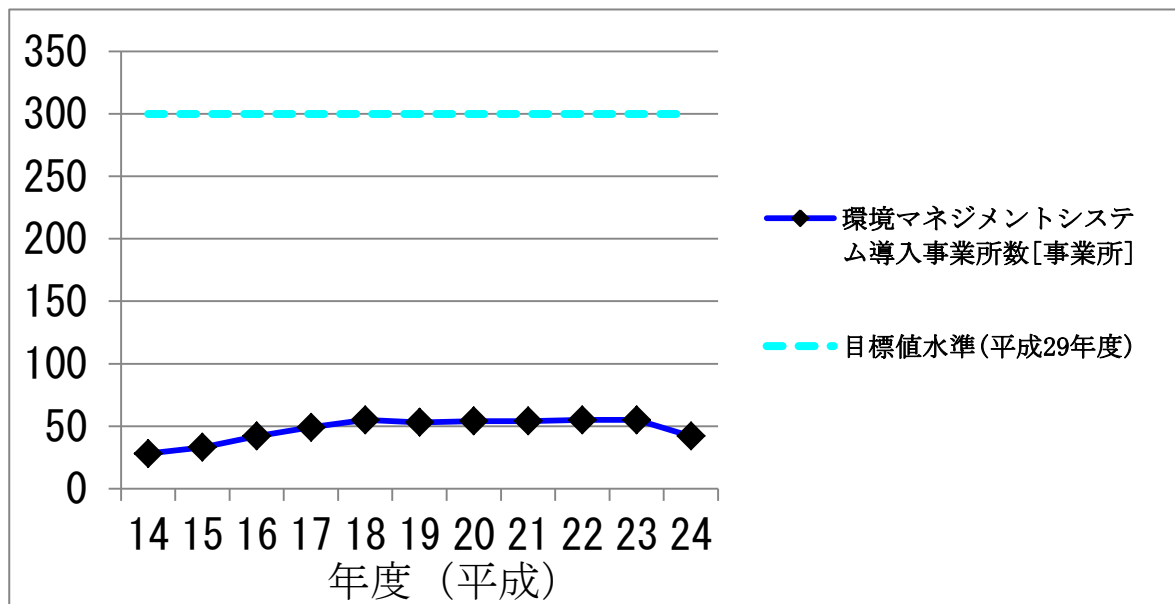
### 《平成 24 年度の取組事例》

- ・北部学校給食共同調理場の耐震診断、補強設計の実施と、車庫棟、管理棟の耐震診断を実施し、公共建築物の耐震補強工事を進めた。(○)
- ・食の安全を阻害する環境要因に関する情報の収集と提供として、消費生活展において消費者関係団体による関係食品に関するパネル展示、関連啓発パンフレットの配布等、食の安全安心についてPRした。(○)

## 環境要素 9：産業

目標：農・工・商の調和するまち

全体の数値目標：環境マネジメントシステム導入事業所数 300 事業所



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標から遠ざかった。

【評価の理由】 昨年度より市内 ISO14001 規格取得事業所の数が減少したため。

【目標の確認のための取組】 市内の ISO14001 規格取得事業所の調査による。

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
環境マネジメントシステム導入事業所数[事業所] →評価：予定よりかなり遅れている	54	54	55	55	36	300

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 2

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

—その他の状況の取組の数 : 8

### 《平成 24 年度の取組事例》

- ・環境保全型農業直接支援を法人 1 社に行い、環境に配慮した農業を促した。(○)
- ・農業後継者を育成するため、さがみ農業協同組合が行う各種営農指導等を支援し、事業に対して補助金を交付した。(○)

## 環境要素 10：基地

目標：航空機騒音のないまち

全体の数値目標：航空機騒音に係る環境基準の達成率 100%

【本年度の評価】 昨年度と変わらない

【評価の理由】 日米両国間の条約により、国が米軍に施設を提供していることに起因する航空機騒音であり、厚木基地を取り巻く状況は大きく変わっていない。

【目標の確認のための取組】 騒音測定

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
航空機騒音に係る環境基準の達成率 [%] →評価：予定よりやや遅れている	0	0	0	0	0	100

◎到達目標以上に進んだ取組の数：0

○到達目標どおりに進んだ取組の数：15

△到達目標に届かなかった取組の数：0

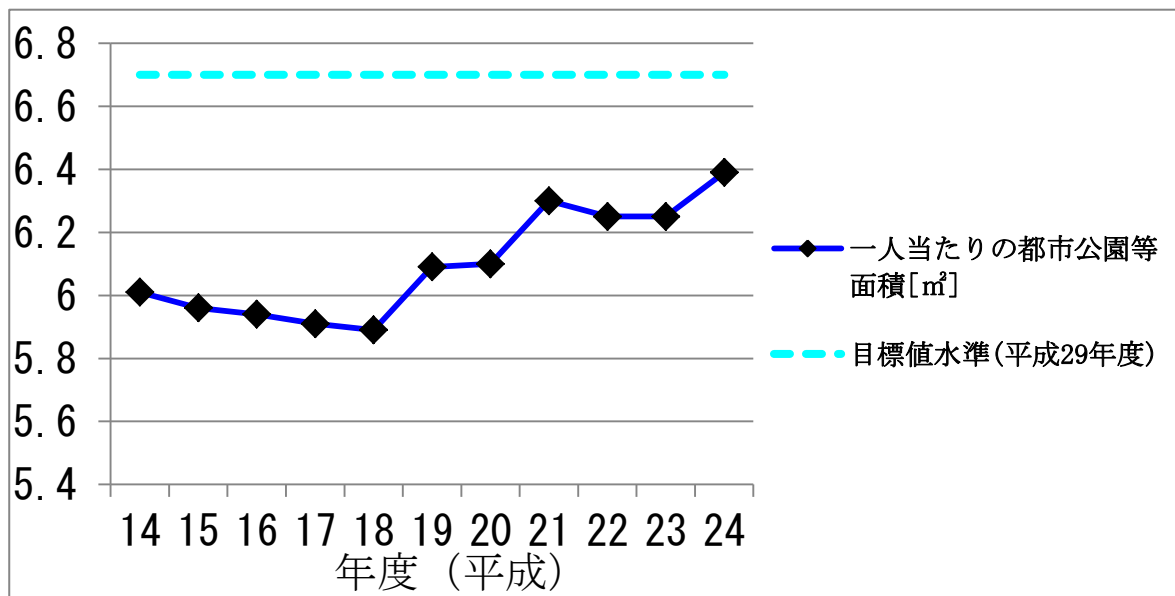
《平成24年度の取組事例》

- ・大和市基地対策協議会、厚木基地騒音対策協議会、神奈川県基地関係縣市連絡協議会による平成24年度の要請活動、及びNLP実施時の要請活動を行い、NLPの硫黄島全面移転への要請を継続した。(○)
- ・民家の防音対策等の推進について、大和市基地対策協議会、神奈川県基地関係縣市連絡協議会による要請内容に盛り込んだ。(○)

## 環境要素 11：都市空間

目標：都市空間のゆとりのあるまち

全体の数値目標：一人当たりの都市公園等面積 6.7m<sup>2</sup>



【本年度の評価】 昨年度と変わらない

【評価の理由】 人口の増加に応じた面積にほぼ対応している面積の公園整備を行っている。

【目標の確認のための取組】 「緑の基本計画」の目標水準に沿って取り組んだ。

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
一人当たりの都市公園等面積[m <sup>2</sup> ]	6.1	6.3	6.25	6.25	6.39	6.7
→評価：予定通りに進んでいる						

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 17

△到達目標に届かなかった取組の数 : 1

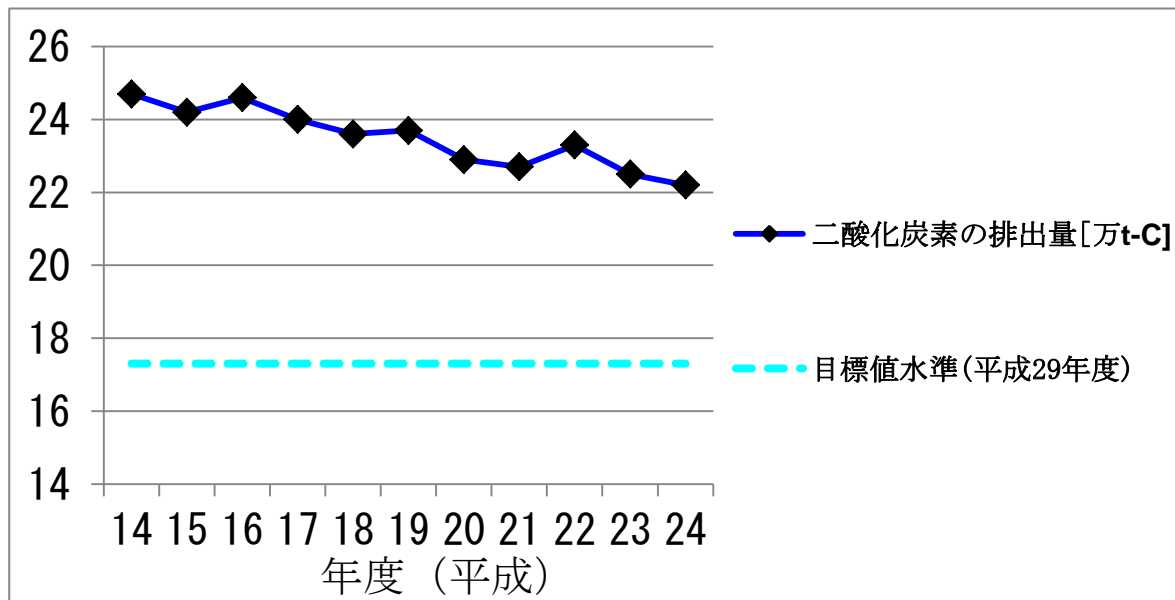
《平成 24 年度の取組事例》

- ・カラーバリアフリー化推進計画に基づく街づくりモデル事業において、誰にでも分かりやすい案内表示を整備し、交通バリアフリー化を推進した。(○)
- ・開発等に伴う環境問題の発生を未然に防止するため、開発事業の適正な指導を行い（事前協議件数 90 件）、良好な生活環境の確保に努めた。(○)

## 環境要素 12：地球環境

目標：地球市民としての自覚を持って行動するまち

全体の数値目標：二酸化炭素の排出量 17.3 万 t-C



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標に近づいた

【評価の理由】 排出量が昨年度より低い値となった。

【目標の確認のための取組】 市内のエネルギー供給量調査に基づく温室効果ガス排出量算定結果 (推計値) による。

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
二酸化炭素の排出量[万t-C]	22.9	22.7	23.3	22.5	22.2	17.3
→評価：予定通りに進んでいる						

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 11

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

《平成 24 年度の取組事例》

- ・自然エネルギーの活用を促進するため、住宅用太陽光発電システム設置費補助により、太陽光発電システムの普及を進めた。(○)
- ・交通・運輸からの二酸化炭素排出量を削減するため、上草柳にあるトラックステーション利用者に対し、アイドリングストップの調査・指導を行った。アイドリングストップ率は約 54%であった。(○)

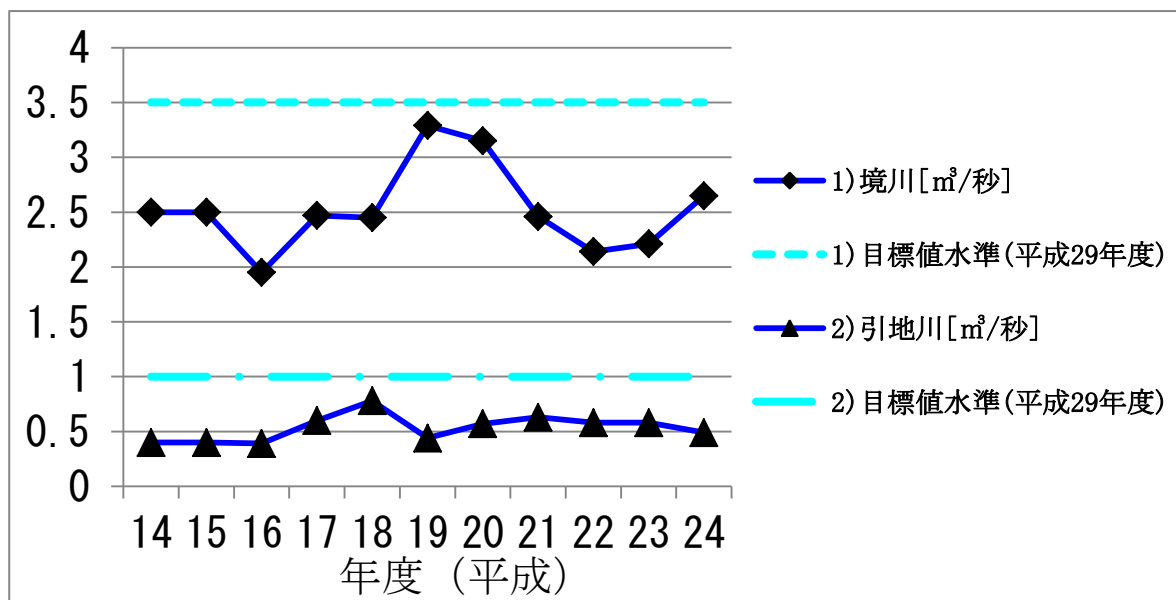


環境要素 13：水循環

目標：水との親しみのあるまち

全体の数値目標：河川流量

境川 3.5m<sup>3</sup>/秒 引地川 1.0m<sup>3</sup>/秒



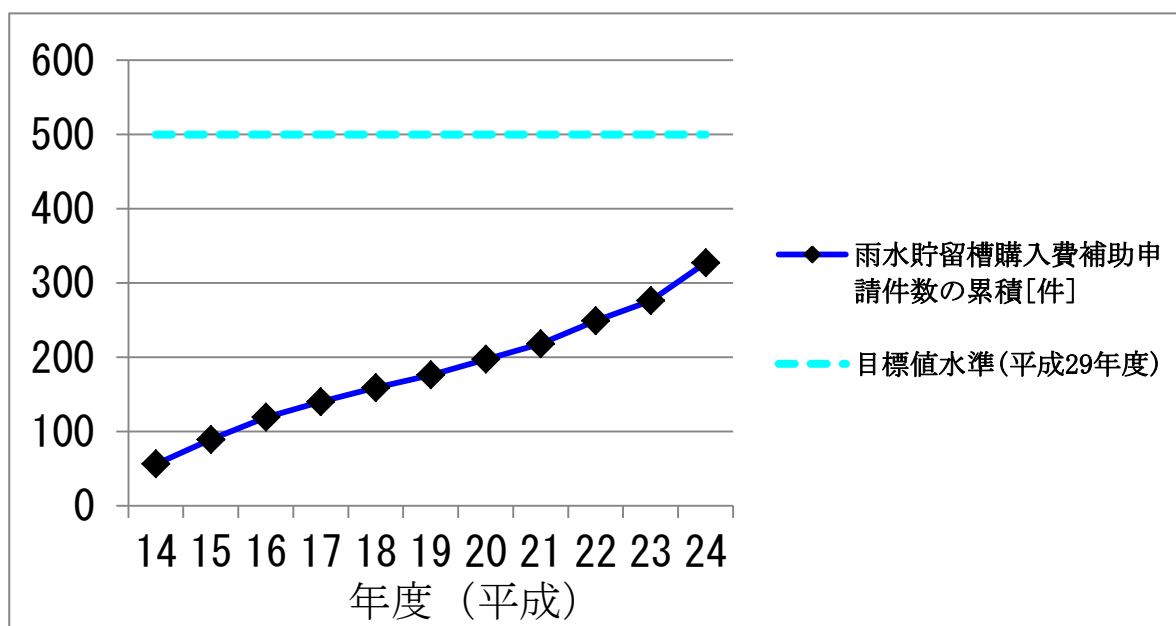
【本年度の評価】 昨年度よりやや目標に近づいた。

【評価の理由】 水と親しめる空間ができています。

【目標の確認のための取組】 境川・引地川の流量測定

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
境川[m <sup>3</sup> /秒] →評価：予定通りに進んでいる	3.15	2.46	2.14	2.21	2.65	3.5
引地川[m <sup>3</sup> /秒] →評価：予定よりやや遅れている	0.57	0.63	0.58	0.58	0.49	1.0

全体の数値目標：雨水貯留槽購入費補助申請件数の累積 500 件



【本年度の評価】 昨年度と変わらない

【評価の理由】 申請基数が順調に増加している。

【目標の確認のための取組】 雨水貯留槽購入費補助申請件数

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
雨水貯留槽購入費補助申請件数の累積 [件] →評価：予定通りに進んでいる	197	218	249	276	327	500

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 10

△到達目標に届かなかった取組の数 : 1

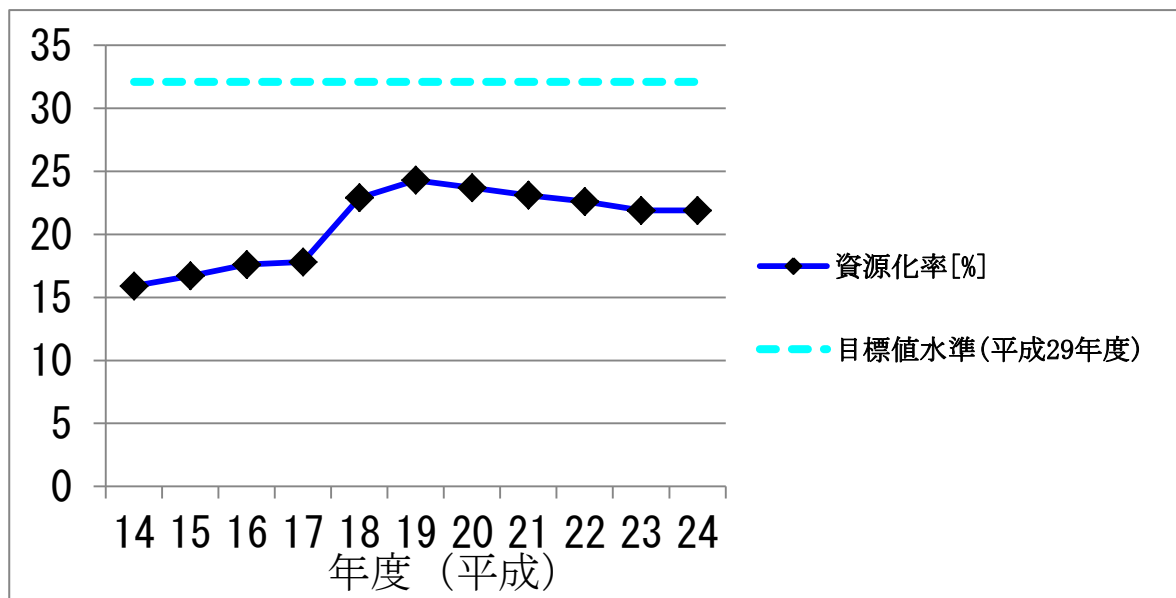
《平成 24 年度の取組事例》

- ・雨水の利用を進めるため、雨水貯留槽購入費補助制度を実施し、51 基に対して補助金を交付した。(○)
- ・水の使用量を減らす工夫を推進するため、市内中学校にかんきょうノートを配布し、節水等の普及啓発を行った。(◎)
- ・立ち入りした 41 事業所について、神奈川県生活環境の保全等に関する条例、水質汚濁防止法、土壌汚染対策法に基づき、地下水汚染の未然防止等について指導した (○)

環境要素 14：資源

目標：物質循環のなされているまち

全体の数値目標：資源化率 32.1%



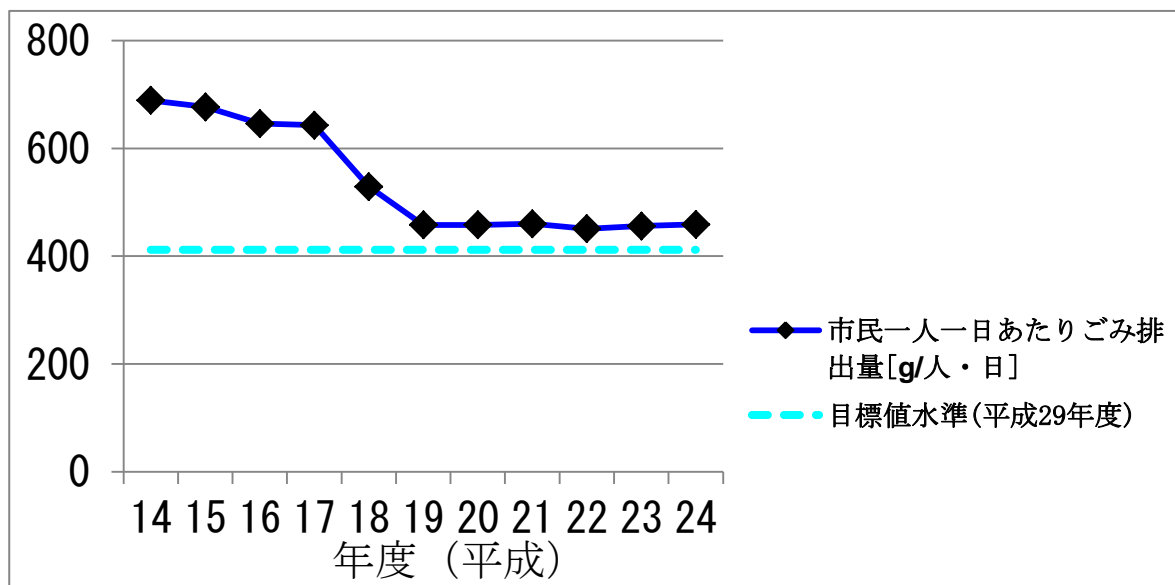
【本年度の評価】昨年度と変わらない

【評価の理由】資源分別回収については、市民に定着している。

【目標の確認のための取組】総ごみ排出量及び総資源化量の集計

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
資源化率[%] →評価：予定よりやや遅れている	23.7	23.1	22.6	21.9	21.9	32.1

全体の数値目標：市民一人一日あたりごみ排出量 412g/人・日



【本年度の評価】 昨年度と変わらない

【評価の理由】 資源分別回収については、市民に定着している。

【目標の確認のための取組】 総ごみ排出量及び総資源化量の集計

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
市民一人一日あたりごみ排出量[g/人・日] →評価：予定通りに進んでいる	458	460	451	456	459	412

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 1

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 26

△到達目標に届かなかった取組の数 : 1

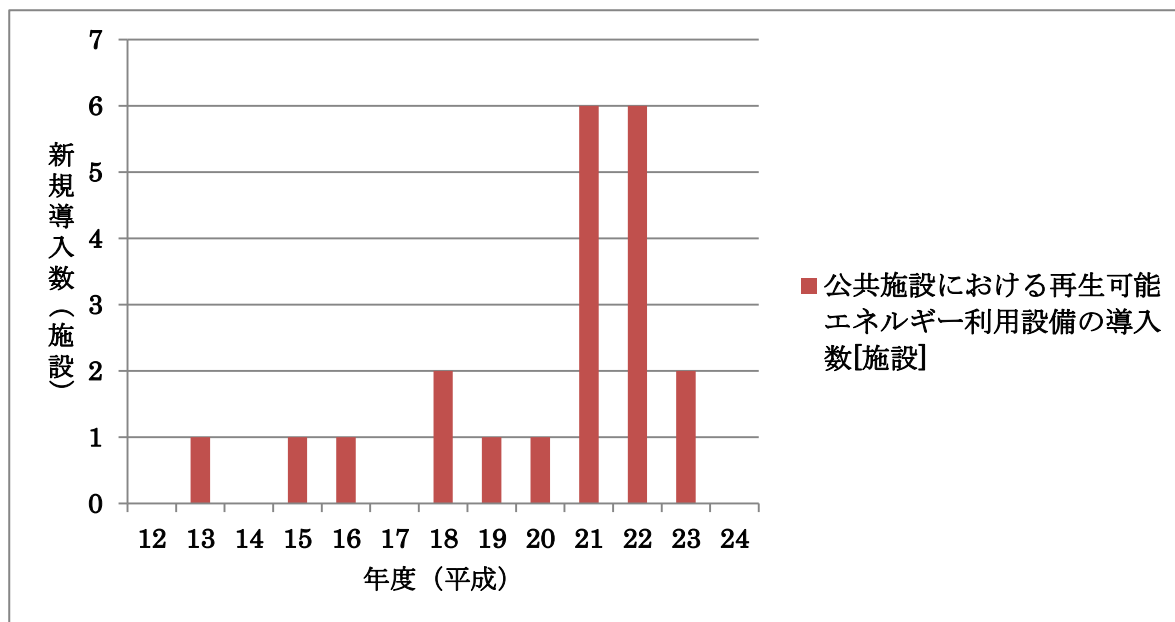
《平成 24 年度の取組事例》

- ・レジ袋の削減のため、イベント開催時に市民向けにレジ袋削減、マイバッグ運動、生ごみの水切り等に関する啓発活動を実施した。(○)
- ・緑のリサイクルを促進するため、個人・事業主、自治会等に対して、ガーデンシュレッダーの補助を行った。(○)
- ・一般住宅・集合住宅での生ごみ処理容器利用を促進するため、電動式生ごみ処理機及びコンポスト容器等、計 141 基の補助を行った。(○)

## 環境要素 15：エネルギー

目標：エネルギーを有効に利用しているまち

全体の数値目標：公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入数：全施設



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標から遠ざかった。

【評価の理由】 新たな再生可能エネルギー利用設備の設置はなかったため。

【目標の確認のための取組】 公共施設における新エネルギーの活用状況の調査による。

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入数[施設]	1	6	6	2	0	全施設
→評価：予定よりかなり遅れている	(9)	(15)	(21)	(23)	(23)	内環計

◎到達目標以上に進んだ取組の数：0

○到達目標どおりに進んだ取組の数：10

△到達目標に届かなかった取組の数：0

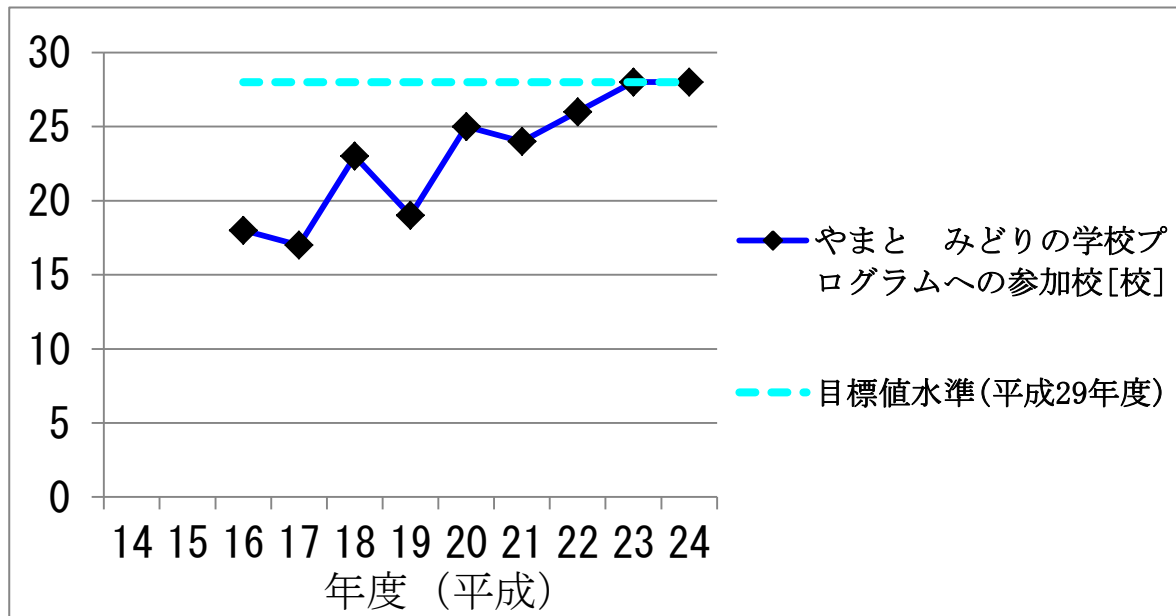
《平成24年度の取組事例》

- ・施設の立替、改修に当たっては、Hf型蛍光灯やLED照明等を採用し、省エネルギーに配慮した環境共生型公共施設の整備を進めた。(○)
- ・草柳コミュニティセンターに太陽光発電設備を設置する設計を行い、公共施設において自然エネルギーの導入に努めた。(○)

環境要素 16：学習・参加・協働

目標：環境にやさしい市民のまち

全体の数値目標：やまと みどりの学校プログラムへの参加校 28校



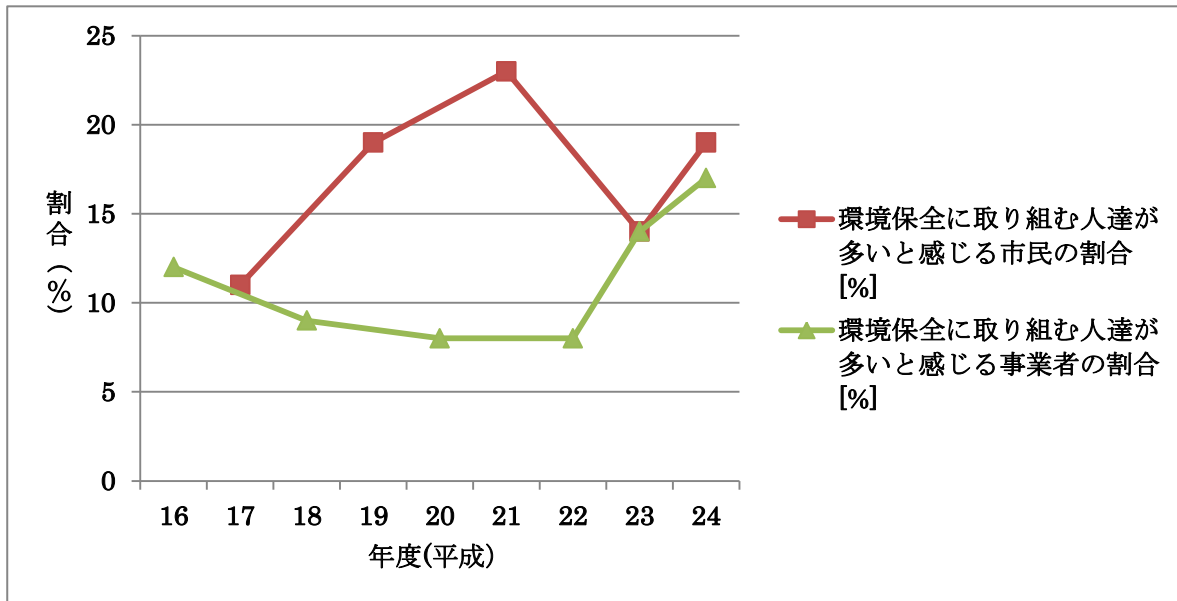
【本年度の評価】 昨年度と変わらない。

【評価の理由】 全小中学校が参加しているため。

【目標の確認のための取組】 やまと みどりの学校プログラムへのエントリーの確認

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
やまと みどりの学校プログラムへの参加校[校] →評価：予定よりかなり進んでいる	25	24	26	28	28	28

全体の数値目標：環境保全に取り組む人達が多いと感じる市民の割合が前年度と比べ増加



【本年度の評価】 昨年度より目標に近づいた。

【評価の理由】 昨年度より高い水準となった。

【目標の確認のための取組】 市民・事業者アンケートの結果を反映する。

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値
環境保全に取り組む人達が多いと感じる市民の割合[%] →評価：予定通りに進んでいる	-	23	-	14	19	前年度より増加
環境保全に取り組む人達が多いと感じる事業者の割合[%] →評価：予定通りに進んでいる	8	-	8	14	17	前年度より増加

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 19

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

《平成 24 年度の取組事例》

- ・地域の自然を体験しつつワークショップを交えた講座を開設し、多くの市民が参加したことにより、環境学習に関する指導者の育成、支援を図った。(○)
- ・市職員への環境教育として、環境セミナーと新採用職員研修で「やまと EMS の取組み」を実施し、意識啓発を行った。(○)